



広報はばたき

第37号

新発田青少年健全育成市民会議

市民大会 －わたしの主張－ 新発田市大会

7月11日(土)生涯学習センターにて、約300人の市民参加のもと開催されました。

功労者表彰

青少年健全育成活動に長年尽力され、市民会議の発展のために功績があった個人及び団体の方々が表彰を受けられました。

<個人>

大久保 千代子 様 「ボーイスカウト新発田第1団カブスカウト隊 隊長」

本間 光子 様 「前新発田市少年補導委員会副会長」

楨坂 宣弘 様 「前新発田青少年健全育成市民会議監事」

<団体>

さわやかクラブ七清会 様

二葉小学校おやじの会 様



活動紹介

ボーイスカウト新発田第1団

日頃の活動内容について副団委員長の熊倉三喜男様より、ご紹介いただきました。



記念アトラクション

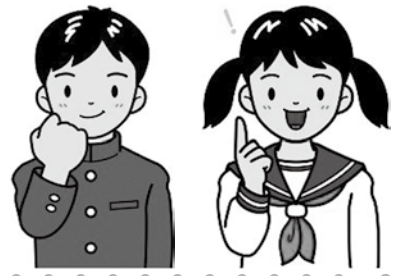
紫雲寺中学校 音楽部

県内でも珍しい、リコーダーを演奏している部活動の皆様に、優しく癒されるハーモニーを奏でていただきました。



主張 大会

市内10中学校の代表生徒が、「今」の自分の思いを自分の言葉で発表しました。その要旨を発表順に掲載します。



僕を変えた言葉

紫雲寺中学校3年 佐藤 勇也

僕は最近「時間の価値を知れ。あらゆる瞬間をつかまえて享受せよ。今日できることを明日まで延ばすな。」というチェスターフィールドの言葉に出会った。この言葉をきっかけに今までの自分を反省し心に誓ったことがある。それは、「前を向いて生きる」ということだ。

僕はチェスターフィールドから、未来への勇氣をもらった気がする。

情に熱く優しい人たちが起こした

デモを体験して

猿橋中学校3年 内田 大和

父がエジプトの日本人学校で働くことになった。二年が過ぎた時、エジプト革命が起きた。あの優しい人たちがと思うと、とても悲しかった。考えることは皆、違う。しかし、違うからと暴力に訴えているのか。私は今、生徒会の仕事をしている。エジプトでのデモを体験して、意見がまとまらないときは何度も話し合い、より良い方向を見つけていくことが大切だと感じた。

笑顔

加治川中学校3年 上野 京

私は将来、人を笑顔にするような仕事に就きたいと思っています。そう思うようになったきっかけは、昨年素敵な笑顔に出会う体験をしたからです。「笑顔は、優しさの証であるとともに充実した時間の証であること」「笑顔は人を強くすること」を学ばせてくれた体験でした。中学校生活は大変なこともたくさんありますが、笑顔の力を信じ、頑張っていきたいです。

考えを伝える

第一中学校3年 阿部 弥生

人は多くの人と関わって生きています。そうした人との関わりの中で大切なことは自分の考えをしっかりと持って、相手に伝えること。相手の意見を尊重して、耳を傾けることだと思いません。将来、社会に出たとき、わたしは必ず考え方も価値観もバラバラな人と接することになります。だからこそ、考えを伝え合い、理解する力が求められているのだと思います。

ネットと上手につき合うために

豊浦中学校3年 池田 舞衣

ネット依存は、若い世代を中心に現代社会で大きな問題になっている。私自身もついネットを使いすぎて、やるべきことをやらなかったことがあった。しかし、ネットが悪いのではなく、ネットのリスクを考えずに安易に使ってしまうことが問題なのだと思う。ネットの使い方を話し合ったり、ネットと現実世界の両方を楽しんだりして、ネットと上手につき合いたい。



10中学校の代表生徒と審査員の皆様
(この中の生徒5名が三市北蒲原地区大会に出場しました)

わたしの 新発田市

7月11日(土)

三市北蒲原地区大会結果

〈8月19日(水)生涯学習センター〉

最優秀賞 本丸中学校3年 碓氷朋佳さん

優秀賞 七葉中学校3年 上原青さん

新潟県大会結果

〈9月12日(土)三条市総合福祉センター〉

優秀賞 本丸中学校3年 碓氷朋佳さん

食の恵みに感謝する給食

川東中学校3年 築井 桃花

私たち3年生は残渣が毎日3kgを超え、他学年より圧倒的に多い。これが食の大切さを考えるきっかけとなった。改めて「食を作ってくれる方への感謝」「食べ物になる動物への感謝」「平和だということへの感謝」という食の恵みへの感謝に気づき、残渣の量を減らすように盛り切りキャンペーンを考えた。いつか残渣0になるようにクラスみんなで協力していきたい。

感謝の気持ちは感謝の言葉に

佐々木中学校3年 石井 ちひろ

いつも私を応援してくれ、励ましてくれる母。そんな母への感謝の気持ちを手紙を通して伝えた。その時、私は感謝の気持ちを言葉にすることが、いかに素敵なことかを知った。感謝の気持ちを言葉にすると、相手への接し方や見方もより良いものになる。だから私は、このことを学校や社会にも広めていきたいと考えている。

日本人の美德について

本丸中学校3年 碓氷 朋佳

「挨拶や時と場合に応じた言葉遣い」って、日本人なら誰でもできることなのではないのだろうか。原爆投下直後の写真に見られる日本人の光る本質、「美德」。世代を超えて親から子へ受け継がれてきた美德がなくなってしまうことは悔しく悲しいことだ。礼儀謙虚さ、思いやり、奥ゆかしさなどの日本人の美德は一日二日で身につくものではない。普段の生活から身についた日本人の美德を大切にしていこう。

感謝

東中学校3年 内山 凌一

僕の将来の夢は、プロ野球選手になることです。小学六年の大会で「野球は1人でやるものではなく、チーム全員でやるものだ」ということと、周りに「感謝」することの大切さを学びました。自分を成長させてくれた野球に関わる仕事をして、いつも見守り励ましてくれた家族や先生方に感謝し、親孝行や恩返しができるように頑張りたいです。

出し惜しみ

七葉中学校3年 上原 青

何事にも一生懸命取り組むことが大切だと思っている私は、全校朝会での校歌の歌声が小さいことに疑問を持った。やる気や能力を持っているのにも関わらず、それを表に出さない、力の「出し惜しみ」をしている人が多いのではないだろうか。

失敗を恐れず、自分の力を十分に発揮していくことを通して、達成感や自信を身に付け成長していきたい。

わたしの主張 新発田市大会 講評

(審査委員長) 加治川中学校長 土屋 和也

よく調べ、まとめ、堂々と発表してくれました。身近な生活の中で触れる言動や体験を通しての疑問や問題点、日本文化や海外での体験から考えたことなど幅広いテーマで発表してくれました。普段は気付かず、見過ごし、聞き流してしまうことにしっかりと着目し、考えを深めることの大切さ、広く深い視野で現代社会を見直していく大切さが伝わってきました。発表者の高い意志や正義感が伝わってくる内容でした。全体的に評論的になっていきます。もっと掘り下げ、考えを深めるときに素晴らしい主張になったと思います。

青少年健全育成 「市民一斉パトロール」のお知らせ

と き 11月3日(火・祝) 午前9時30分～正午
出 発 式 午前9時30分 新発田市役所前(雨天決行)
パトロール等 午前10時30分～正午(各中学校区ごと)

※詳しくは新発田青少年健全育成市民会議事務局
またはお住まいの地区育成協議会へ

大勢のみなさまのご協力をお願いします



青少年を取り巻く社会環境の実態調査報告

青少年を取り巻く社会環境の実態を把握し、今後の青少年の非行防止活動に資するため、市内13育成協の協力を得て、毎年7月の「青少年の非行・被害防止全国強調月間」の取組の一環として行っているものです。今年度も、各地区のPTA役員、町内会役員、市民会議役員、補導員など青少年育成関係者述べ152人の方々にご協力いただき巡回調査をしました。

(1) コンビニでの酒類・タバコ販売状況

	24年度	25年度	26年度	27年度
店舗数	51	51	54	53
酒類販売あり	51	51	54	53
タバコ販売あり	49	50	53	52

(2) 有害図書の販売状況

		24年度	25年度	26年度	27年度
書店	店舗数	12	12	11	11
	有害図書あり	11	11	10	10
	未区分陳列	2	2	2	2
コンビニ	店舗数	51	51	54	53
	有害図書あり	48	49	52	50
	未区分陳列	2	2	5	1

*書店及びコンビニの64店舗のうち有害図書類を販売しているのは60店舗でした。そのうち県条例の規定による区分陳列がなされていない店舗は、3店舗でした。(昨年度から4店舗減少)

(3) ゲーム場の設置状況(隔年調査)

		23年度	25年度	27年度
総店舗数		7	6	6
店舗形態	ゲーム専門店	4	3	3
	ゲームコーナーのある大型店	2	2	2
	ゲーム機設置の小型店	1	1	1
夜10時以降営業		5	4	4

*ゲーム場の総店舗数は、6店舗あり、そのうち4店舗は夜10時以降も営業しています。

(4) その他(有害図書類等自動販売機、DVD等貸出店)

	24年度	25年度	26年度	27年度
有害図書類等自動販売機	7	2	2	2
DVD等貸出店(成人向けあり)	調査なし	5	調査なし	4

*成人向けDVDを貸し出している店舗数は4店舗で、全ての店舗で区分陳列を行っていました。

発行 新発田青少年健全育成市民会議
事務局 新発田市青少年健全育成センター
住所 新発田市緑町二丁目六番三十六号
電話 (〇二五四) 二六一〇八九七
編集委員
猿子 洋司 前田 清
渡辺 富子 金田 緑
荒川真里子

あしがき
○○の秋といえば何を思い浮かべるでしょうか。それぞれ、スポーツの秋と答える方もいれば、芸術の秋や読書の秋、味覚の秋と答える方もいます。
秋は、ぶどう、梨、りんごなどの様々なフルーツや、サトウキビ、とれたての新米とおいしいものがたくさんあります。それに合わせ、秋には各地でイベントもたくさん開催されます。イベントも展示会や物産展、ハンドメイド展など大規模なものから小規模なものまで自分の好みに合わせて行くものを選ぶ楽しみがあります。毎週どこかで開催されているイベントに行くのも楽しみの一つではないでしょうか。
(編集委員 金田 緑)